



2026年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年4月24日

上場会社名 太洋テクノレックス株式会社
コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-tx.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 正大

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 園部 直孝

TEL 073-431-6311

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2025年12月21日～2026年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	820	4.7	24		22		2	
2025年12月期第1四半期	783	9.5	59		60		20	

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 52百万円 (%) 2025年12月期第1四半期 31百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	0.35	
2025年12月期第1四半期	3.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	4,825	2,715	55.6
2025年12月期	4,570	2,698	58.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,684百万円 2025年12月期 2,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年12月期		0.00		6.00	6.00
2026年12月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2025年12月21日～2026年12月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,150	33.8	25		22		9		1.58
通期	4,873	29.9	121	14.9	113	28.3	75	44.8	12.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	5,992,400 株	2025年12月期	5,992,400 株
2026年12月期1Q	6,227 株	2025年12月期	6,227 株
2026年12月期1Q	5,986,173 株	2025年12月期1Q	5,986,173 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、人手不足による賃金押し上げ等を背景に、実質賃金はプラスで推移した他、政府の積極的な財政政策への期待による景気の下支え効果が見られました。一方で、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化に伴う原油価格の高騰及び円安の進行、並びに人件費の上昇に起因する物価上昇への懸念から、先行きは不透明な状況となりました。

当社グループが属する電子基板業界は、A Iデータセンター向けの旺盛なメモリー需要を背景とした部品供給への懸念や仕入価格の上昇等、収益を下押しする要因はあったものの、A I関連需要の拡大に伴うデータセンター向け需要がけん引し、概ね堅調に推移いたしました。

このような経済環境の下、テストシステム事業及び鏡面研磨機事業において販売は減少したものの、電子基板事業及び産機システム事業において販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。

これらの結果、連結売上高は820百万円（前年同四半期比4.7%増）と、前年同四半期連結累計期間に比べ36百万円の増収となりました。

損益については、鏡面研磨機事業の売上高が減少したことに伴う影響はあったものの、希望退職者の募集等に伴い人件費が減少したこと及び電子基板事業において売上高が増加したことに伴う影響により営業利益24百万円（前年同四半期は59百万円の営業損失）、経常利益22百万円（同60百万円の経常損失）、連結子会社において早期割増退職金を特別損失に計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円（同20百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

ディスプレイメーカー向けのF P Cの販売は減少したものの、カメラメーカー及び産業機器メーカーをはじめとしたセットメーカー向け新規量産案件等の受注増により販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、社内製造品の売上高増加による売上総利益率の上昇に伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高649百万円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益158百万円（同63.3%増）となりました。

(テストシステム事業)

セラミックス基板向けの外観検査機の販売はできたものの、パッケージ基板向けの外観検査機及びF P C向け関連機器等の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、利益率の高い製品の販売による売上総利益率の上昇に伴う影響により損失が縮小いたしました。

その結果、売上高76百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント損失28百万円（前年同四半期は39百万円のセグメント損失）となりました。

(鏡面研磨機事業)

砥石等の研磨に使用する消耗品及び機械修理・メンテナンスの受注増により販売は増加したものの、研磨機の販売が減少したことから、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響により減益となりました。

その結果、売上高65百万円（前年同四半期比45.1%減）、セグメント利益5百万円（同76.8%減）となりました。

(産機システム事業)

センサー等の仕入販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高増加に伴う影響により損失が縮小いたしました。

その結果、売上高28百万円（前年同四半期比131.9%増）、セグメント損失6百万円（前年同四半期は12百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ207百万円増加し、2,811百万円となりました。これは主として、売上債権が減少した一方、現金及び預金並びに棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ47百万円増加し、2,013百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価が上昇したことにより投資その他の資産が増加したものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ237百万円増加し、1,021百万円となりました。これは主として、未払法人税等が減少した一方、短期借入金が増加したこと及び夏季の賞与引当金を計上したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と同水準の1,088百万円となりました。これは主として、長期借入金及び長期未払金が減少した一方、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円増加し、2,715百万円となりました。これは主として、利益剰余金が減少した一方、投資有価証券の時価が上昇したことによりその他有価証券評価差額金が増加したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2026年1月30日公表の「2025年12月期決算短信」からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257,565	1,707,710
受取手形及び売掛金	1,001,287	701,593
商品及び製品	43,562	106,195
仕掛品	167,599	154,431
原材料及び貯蔵品	114,184	128,516
その他	21,143	13,931
貸倒引当金	△674	△480
流動資産合計	2,604,667	2,811,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	248,937	243,392
機械装置及び運搬具 (純額)	160,447	147,444
土地	914,686	914,686
その他 (純額)	32,154	29,779
有形固定資産合計	1,356,225	1,335,302
無形固定資産		
その他	41,841	37,556
無形固定資産合計	41,841	37,556
投資その他の資産		
その他	571,529	643,953
貸倒引当金	△3,292	△3,202
投資その他の資産合計	568,237	640,751
固定資産合計	1,966,304	2,013,610
資産合計	4,570,972	4,825,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,614	124,486
短期借入金	290,668	510,689
未払法人税等	42,264	16,693
賞与引当金	—	42,999
製品保証引当金	710	738
その他	314,803	326,159
流動負債合計	784,061	1,021,765
固定負債		
長期借入金	280,582	268,760
長期未払金	78,670	67,483
役員退職慰労引当金	164,370	164,370
退職給付に係る負債	533,389	532,627
資産除去債務	9,248	9,248
繰延税金負債	22,239	46,063
固定負債合計	1,088,500	1,088,554
負債合計	1,872,562	2,110,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,195	822,195
資本剰余金	945,495	945,495
利益剰余金	678,098	644,294
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,445,673	2,411,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,926	227,807
為替換算調整勘定	42,424	44,330
その他の包括利益累計額合計	223,350	272,138
非支配株主持分	29,386	31,181
純資産合計	2,698,410	2,715,189
負債純資産合計	4,570,972	4,825,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月21日 至 2025年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月21日 至 2026年3月20日)
売上高	783,899	820,764
売上原価	562,780	546,983
売上総利益	221,119	273,780
販売費及び一般管理費	280,648	249,620
営業利益又は営業損失(△)	△59,528	24,160
営業外収益		
受取利息	393	133
為替差益	—	1,754
助成金収入	1,475	900
その他	1,759	774
営業外収益合計	3,628	3,561
営業外費用		
支払利息	3,184	3,385
債権売却損	732	1,402
その他	978	405
営業外費用合計	4,895	5,193
経常利益又は経常損失(△)	△60,795	22,528
特別利益		
投資有価証券売却益	44,754	—
特別利益合計	44,754	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
早期割増退職金	—	8,570
特別損失合計	—	8,570
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,041	13,958
法人税等	5,441	10,847
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,483	3,111
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,393	998
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,089	2,112

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月21日 至 2025年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月21日 至 2026年3月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,483	3,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,359	46,881
為替換算調整勘定	△665	2,703
その他の包括利益合計	△10,025	49,584
四半期包括利益	△31,508	52,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,440	50,900
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,067	1,795

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月21日 至 2025年3月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月21日 至 2026年3月20日)
減価償却費	30,584千円	25,897千円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年12月21日 至 2025年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	574,353	77,954	119,334	12,257	783,899	—	783,899
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	574,353	77,954	119,334	12,257	783,899	—	783,899
セグメント利益 又は損失(△)	97,246	△39,937	22,907	△12,568	67,648	△127,177	△59,528

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△127,177千円には、セグメント間取引消去等5,664千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△132,842千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年12月21日 至 2026年3月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	649,970	76,842	65,520	28,430	820,764	—	820,764
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	649,970	76,842	65,520	28,430	820,764	—	820,764
セグメント利益 又は損失(△)	158,827	△28,166	5,319	△6,845	129,135	△104,975	24,160

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△104,975千円には、セグメント間取引消去等5,127千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,102千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。